

教科	科目	必修・選択	履修条件	単位数	開講学習期間
数学	数学B	選択	なし	3単位	1・2・3
開講曜日	開講時間数	必要時間数	必要一斉時間数	テスト回数	レポート枚数
日曜	12時間	5時間	3時間	3回	9枚

### 科目紹介と履修上のアドバイス

数学Bの学習内容は、「数列」「統計的な推測」「数学と社会生活」です。  
「数列」では、等差数列、等比数列や漸化式で表された簡単な数列と数学的帰納法について学びます。  
「統計的な推測」については、確率の考えを統計に応用し、正規分布を用いた区間推定や仮設検定の方法を学びます。  
「数学と社会生活」では、始めに社旗生活に必要ないろいろな単位について学び、ごみの量の推定や自転車シェアリング、電気料金など実際の社会生活に役立つ内容を学習します。  
数学Bの内容のうち、「統計的な推測」は、とても難しい内容ですが、最後の「数学と社会生活」では、社会に役立つ内容を学習しますので、ぜひ履修・修得してください。

教科書	新高校の数学B(数研出版)	学習書	高校数学Bをひとつひとつわかりやすく。改訂版(Gakken)
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</li> <li>・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。</li> <li>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力を身に付けている。</li> <li>・確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。</li> <li>・日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>

### 面接指導計画

回	学習内容	教科書ページ	レポート	回	学習内容	教科書ページ	レポート
第1回	等差数列	8-15	1	第9回	単位・割合・速さ		7
第2回	等比数列	16-29	2	第10回	ごみの量の推定 自転車シェアリング	82-89	8
第3回	階差数列	30-33	3	第11回	電気料金、平均気温	90-97	8,9
第4回	漸化式、数学的帰納法	34-38	3	第12回	標高と気温の関係 自転車の制動距離	98-105	9
テスト	レポートNo.1~No.3			テスト	レポートNo.9~No.12		
第5回	確率変数と確率分布	46-49	4				
第6回	確率変数の期待値 反復試行	50-54	4, 5				
第7回	二項分布と正規分布	55-63	5, 6				
第8回	統計的な推測	68-77	6				
テスト	レポートNo.4~No.6						

